

# 最近の富士山の地殻活動\*

## Recent Crustal Activity of Mt. Fuji

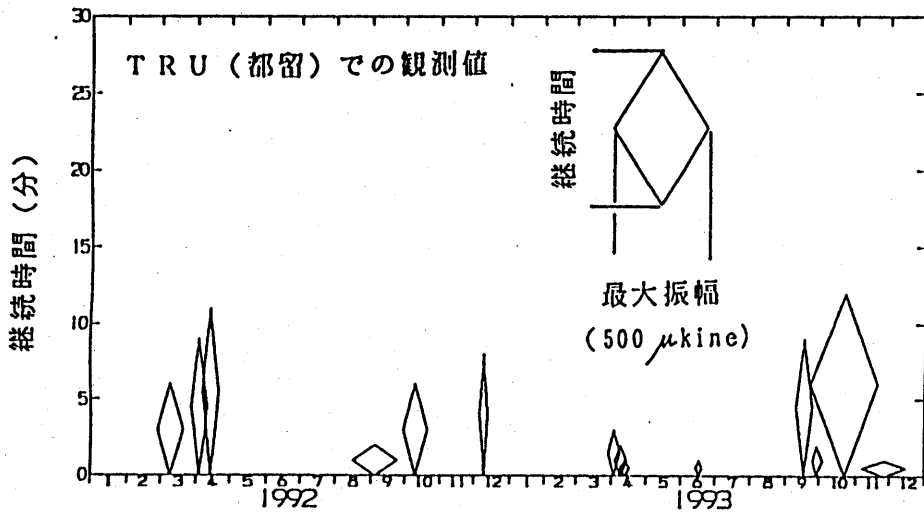
防災科学技術研究所  
National Research Institute for Earth  
Science and Disaster Prevention

富士山直下では1993年に8回の低周波地震活動が検知された。第1図に1992年と1993年の低周波地震活動の発生状況を示す。1993年に震源決定された低周波地震は12個であったが、その内6個は10月22日の活動中に発生したものである。震源決定された低周波地震の震央を深さ30 km以浅の地震とともに第2図に示す。山頂から北西方向やや離れたところに2個震源決定されているが、精度に問題がある。

富士鳴沢火山活動観測施設(第2図, FJN)において実施している傾斜変動観測の1993年の結果を第3図に示す。これは10分値データに24時間の移動平均を施した日平均値である。ドリフト量は南北成分が $5.4 \mu\text{rad}/\text{年}$ 、東西成分は $4.0 \mu\text{rad}/\text{年}$ で、やや減少傾向にあるがほぼ一定してきている。第4図にドリフトを時間の1次式と仮定して除去した傾斜変動日平均値を降雨量とともに示す。南北成分には降雨時に北上がりの変動が現れる。

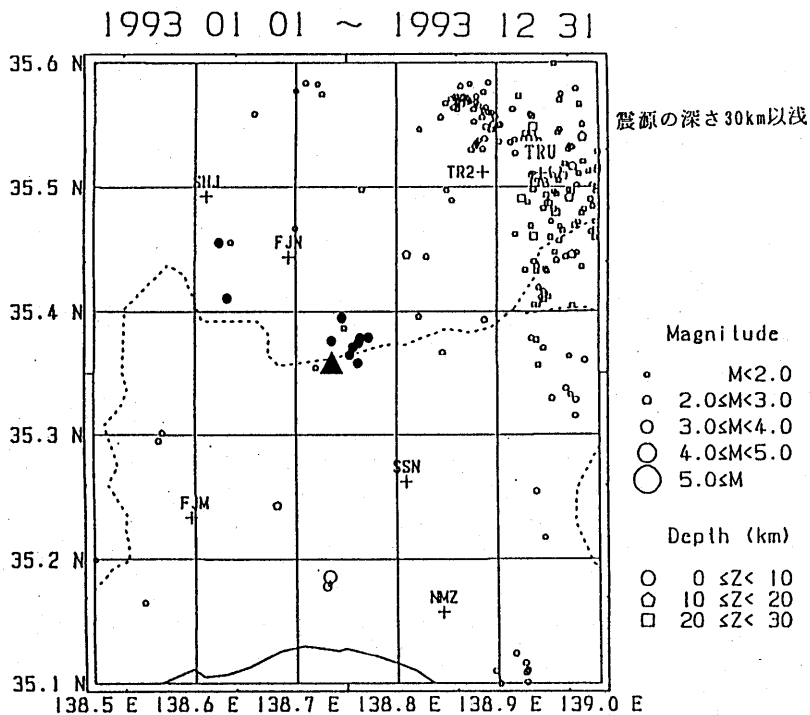
---

\* Received 18 Apr., 1994



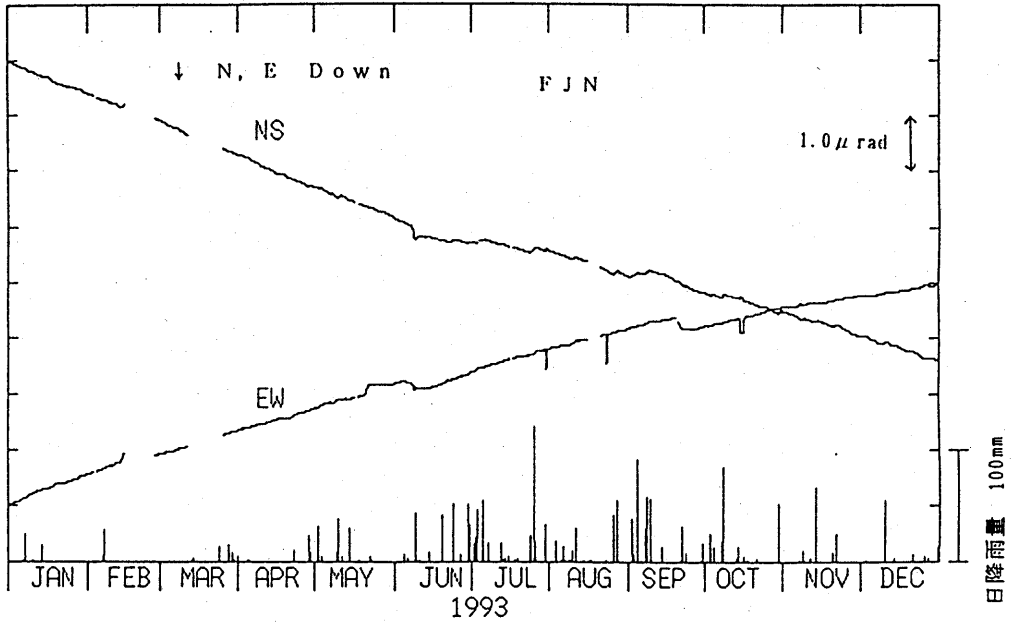
第 1 図 低周波地震の活動状況 (1992~1993年)。都留 (TRU, 第 2 図) での最大振幅と継続時間を示す。

Fig. 1 Activity of low frequency earthquakes beneath Mt. Fuji in 1992 and 1993. Maximum amplitude and duration time at TRU (Fig. 2) are indicated for each event.



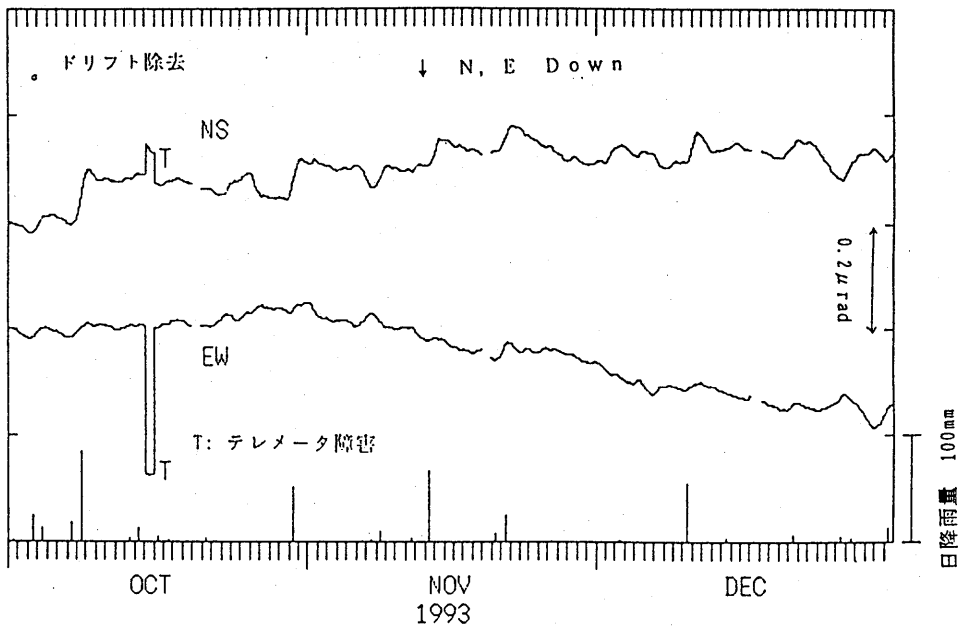
第 2 図 1993年に富士山周辺で発生した 30 km 以浅の地震の震央分布 (●: 低周波地震)

Fig. 2 Map showing epicenters of earthquakes shallower than 30 km around Mt. Fuji in 1993. Solid circles indicate low frequency earthquakes.



第 3 図 富士鳴沢火山活動観測施設 ( FJN, 第 2 図 ) での 1993 年の傾斜変動日平均値, 棒グラフは日降雨量。

Fig. 3 Daily mean value of tilt changes observed at FJN(Fig.2). Vertical bars indicate daily precipitations.



第 4 図 ドリフトを除去した FJN での傾斜変動日平均値 ( 1993 年 10 月 ~ 12 月 )

Fig. 4 Daily mean value of tilt change without drift component for the period from October to December in 1993.